

「ウォーキング大会」に参加して…

大平 美千代

令和 5 年11月 3 日、前日までの雨があがって、さわやかな風の吹く秋日和の日曜日、区主催のウォーキング大会に参加しました。

湘南で生まれ、板橋区で幼少期から青年期を過ごし、20歳から定年まで45年保育士として区内9ヶ所の保育園を渡り歩いてきた私は、板橋区はいつも心のふるさとで、地図上では解っているつもりでした。今大会には、ある意を決しての人生後々半になっての初参加でした。

16人ほどの健歩仲間と歩き始めてすぐ思ったことは、『完歩できるだろうか?』ということ。健歩旗を追いながらひたすら歩いても自分の歩が遅く、数多の人々は私を追い越して飄々と進んで行く。自分が今どこにいるのか地図が浮かばない、仲間たちの元気な足運びがまばゆい、同じような歳でもこんなに差があるのか、でもマイペースを守り付いていくこと数十分、数時間。

荒川土手は保育園のこども達と散歩で土手すべりをした、花火鑑賞も堪能した、舟渡斎場で何人かの知人を送った、新河岸川幅はこんなにあった?蓮根付近も通り、おしゃべりの合間にも過去から今までの生きき道をたどる思いでした。——間、省略して—— 青息吐息の私が息を吹き返したのは、旧粕谷邸の徳丸・赤塚地域に入ってから。坂の多い懐かしい風景の地で、水車公園の水車が回る音が聞こえるような、子どもたちのさざめきが蘇るような、あたたかい気持ちにくるまれました。周囲はきれいな住宅が増えて整い、街の様子は変わり、人も変わり、人生も変わりました。板橋は広かった!半分だけなのに!

そんな思いを抱えつつたどり着いた懐かしの町成増!!

勿論、順位は最後尾。待っていた皆さまは拍手で迎えてくださいました。乾杯の一杯が胸に沁みて。

初体験ふるさと半縦断、最初で最後かも、なーんて……

良き日でした*

出発前、やる気満々の参加者集合写真！



2024 11 03